

埼玉佛教

平成 25 年 7 月 第195号

平成25年7月19日 発行
 No.195
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 萩野 映明
 http://saibutu.net
 印刷所 関東図書株式会社



埼玉県宗教連盟 「平和の祈り」(カトリック川越教会)

目次	
平成25年度第1回代議員会議・第2回理事會・定時評議員會	2
平成24年度事業報告・決算	3
正味財産増減計算書	4
貸借対照表	5
監査報告書	5
※出欠一覧	6
埼玉講話	7
トピックス	7
「埼玉同宗連」	7
第25回総會	8
第37回研修會	8
「解放同盟」第11回夏期講座	9
「埼玉宗連」	9
第16回宗教講演會	9
平和の祈り	10
地区仏教会たより	10
妻沼仏教会	11
川島仏教会	11
蕨戸田仏教会	11
春日部市仏教会	12
インド仏教聖地巡礼紀行③	14
訃報	16
事務局日誌	16
編集後記	16

平成25年度

第1回代議員会議

平成25年5月15日(水)、埼玉佛教会館において、『平成25年度第1回代議員会議』が開催された。代議員会議は、この度の一般財団法人移行に際し、新たに設立されたもので、各地区仏教会の代表者(元支部長)で組織されている。会議では、事業報告、決算が審議された。続いて今後の同会議の運営方針について協



議され、活発な意見が出された。また、この移行に伴い、埼玉県佛教会〇〇支部との表現を使用しない方針が改めて確認された。

第2回理事会・定時評議員会

平成25年5月22日(水)、埼玉佛教会館において、10時30分から



『平成25年度第2回理事会』が開催され、事業報告並びに決算が承認され、定時評議員会に上



程された。続いて今後の運営方針についても協議がなされ、代議員会議との連携を深め、地域の意見を反映した事業を行うことが確認された。

また、13時30分から『平成25年度定時評議員会』が開催され、別掲の通り、事業報告、決算が承認された。また、慶弔規定などの規定についても協議された。各会議の出席者は6頁の通り。

世界平和のための 大翡翠仏展開催

前略、世界的な大イベントであり、日本では最初で最後の奉安となる「世界最大の翡翠仏展」が神奈川、埼玉、宮城の3県にて開催されます。お衣、お袈裟着用にて、随時、自由にお経をお唱えくだされば、有難いと思います。

また、是非、記念の写真などをお撮りください。

合掌

【拝観無料】

・とき

7月27日(土)～8月4日(日)
／9時30分～16時30分

・ところ

弥勒密寺・岩槻大師
〒339-0057
さいたま市岩槻区
本町2-7-35

・お問い合わせ先(岩槻大師)
☎048(756)1037

● 平成24年度 事業報告 ●

平成24年

※赤字は当会が主催している事業

【平成24年4月1日～平成25年3月31日】

期 日	事業内容	会 場
4月9日	埼玉県宗教連盟 第1回 理事会	埼玉会館
23日	「埼玉同宗連」 第1回 役員会	埼玉会館
	第1回 執行部会	埼玉会館
5月9日	第34回 埼玉県佛教徒大会 第1回 実行委員会	所沢・持明院
21日	監査会	埼玉会館
24日	第1回 理事会／第1回 評議員会	埼玉会館
6月5日	全日本仏教会 人権問題連絡協議会	増上寺
7日	萩野映明会長全仏副会長就任祝賀会	大宮ラフォーレ清水園
8日	埼玉県宗教連盟 第15回 埼玉宗講演会・役員打合せ会	天理教埼玉教務支庁
18日	第34回 埼玉県佛教徒大会 第2回 実行委員会	所沢市民文化センター「ミュージズ」
25日	「埼玉同宗連」 総会	埼玉会館
	「埼玉同宗連」 第35回 研修会	
7月7日	埼玉県宗教連盟「平和の祈り」	カトリック川越教会
8月22日	全日本仏教会 第1回 広報委員会	全日本仏教会（明照会館）
29日	教化委員会・奉詠大会合同打合せ会議	埼玉会館
29日	「埼玉同宗連」 第2回 役員会	埼玉会館
9月5日	埼玉県宗教連盟 研修旅行（～6日）	気仙沼、中尊寺、松島（東北被災地）
11日	第34回 埼玉県佛教徒大会 第3回 実行委員会	所沢・持明院
18日	第64回 埼玉県各流諸佛歌奉詠大会	埼玉会館大ホール
28日	「埼玉同宗連」 第36回 研修会	埼玉会館
10月11日	全日本仏教会 都道府県仏教会・仏教団体代議員会議	埼玉会館
15日	第34回 埼玉県佛教徒大会 第4回 実行委員会	所沢市民文化センター「ミュージズ」
22日	「埼玉同宗連」 東松山・嵐山現地学習会	正法寺、根岸家他
24日	「全仏婦」第59回大会・追悼法要	グランドプリンスホテル高輪
11月7日	第34回 埼玉県佛教徒大会	所沢市民文化センター「ミュージズ」
16日	部落解放同盟埼玉県連 第32回研究集会	羽生市産業文化ホール
22日	南部地区支部長会	埼玉会館
12月5日	第2回 執行部会	埼玉会館

平成25年

期 日	事業内容	会 場
1月9日	部落解放同盟埼玉県連 新年旗びらき	ホテルガーデンパレス（熊谷）
17日	埼玉県宗教連盟 新年懇親会	山崎屋（浦和区）
24日	新年懇親会	浦和ロイヤルパインズホテル
30日	全日本仏教会 新年懇親会	ザ・プリンスパークタワー東京
31日	「埼玉同宗連」 新年懇親会	伊勢丹バンケットルーム
2月5日	第3回 執行部会／第1回 臨時理事会	埼玉会館
12日	埼玉県・埼玉県宗教連盟 宗教法人研修会	埼玉会館
14日	〃	川越地方庁舎
23日	第5回 埼玉佛教文化講座	埼玉会館
	演題：『生きるよろこび』／講師：酒井 大岳師（群馬県 曹洞宗長徳寺住職）	
25日	財務委員会／組織委員会	埼玉会館
26日	教化委員会	埼玉会館
27日	第1回 評議員選定委員会	埼玉会館
3月1日	総務委員会	埼玉会館
5日	第2回 理事会／第2回 評議員会	埼玉会館
22日	一般財団法人移行認可書交付	
27日	全日本仏教会 役員懇談会	東京プリンスホテル

■機関紙『埼玉佛教』第190号～193号を発行

■高齢者交通事故防止対策の推進ならびに「振り込め・手渡し詐欺」対策（埼玉県警との協働）

● 正味財産増減計算書 ●

平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日

(単位：円)

科 目	公益事業	法人会計	収益事業	24年度合計	23年度合計	増減	備考	公益 区分
	【公益目的】	【一般会計】	【特別会計】					
I. 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
ア 埼玉佛会費		13,039,000		13,039,000	12,749,000	290,000	@8,000 内過年度分368,000円	
イ 事業収入	1,604,000	3,115,000		4,719,000	4,888,000	△ 169,000		
佛教徒募金		3,115,000		3,115,000	3,043,000	72,000	@2,000	
奉詠大会収入	1,604,000			1,604,000	1,845,000	△ 241,000		
ウ 賛助金		1,805,000		1,805,000	1,806,800	△ 1,800	灯明料	
エ 基本金利息		2,895		2,895	31,527	△ 28,632		
オ 貸事務所収入			8,224,964	8,224,964	8,388,388	△ 163,424		
カ 駐車場収入			4,782,500	4,782,500	4,744,700	37,800		
キ 施設利用料収入			916,650	916,650	1,456,000	△ 539,350		
ク 代理店収入			132,868	132,868	129,649	3,219	第一生命・アフラック	
ケ 雑収入			16,481	16,481	16,488	△ 7	コピー代他	
経常収益計	1,604,000	17,961,895	14,073,463	33,639,358	34,210,552	△ 571,194		
(2) 経常費用								
ア 事業費	9,597,595			9,597,595	9,620,558	△ 22,963		
奉詠大会費	2,147,836			2,147,836	2,089,984	57,852	9月18日 第64回 埼玉会館	継1
県佛大会補助	1,000,000			1,000,000	1,000,000	0	11月7日 第34回 所沢ミュージズ	継1
善意銀行	600,000			600,000	600,000	0	埼玉救援基金	継2
広報費	1,418,509			1,418,509	1,378,420	40,089	「埼玉佛教」4回発行・ホームページ	共通
育成費	460,000			460,000	490,000	△ 30,000	佛青・佛保・佛婦	継3
研修・交流費	447,250			447,250	493,354	△ 46,104	佛教文化講座・他団体交流費	継1
全日本仏教会寄附金	650,000			650,000	650,000	0		継3
埼玉県宗教連盟寄附金	350,000			350,000	350,000	0		継3
「埼玉同宗連」寄附金	60,000			60,000	60,000	0		継3
地区教化活動助成金	1,364,000			1,364,000	1,408,800	△ 44,800		継2
埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0		継3
更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0		継3
歳末助け合い運動	600,000			600,000	600,000	0	共同募金会「清心寮」へ指定寄付金50万円	継3
全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0		継3
イ 運営費	14,103,623	8,835,033	12,715,288	35,653,944	34,666,983	986,961		
給料・手当	6,614,550	600,000	1,200,000	8,414,550	6,998,450	1,416,100		*
退職金		225,000		225,000		225,000		
顧問料	1,083,600	72,240	48,160	1,204,000	680,000	524,000	移行委託手数料・税理士報酬・司法書士報酬	*
管理費	48,085	240,426	913,622	1,202,133	2,149,282	△ 947,149	エレベーター管理・塵芥料・モップ交換	*
賃金・報酬	358,200	23,880	15,920	398,000	134,200	263,800	アルバイト賃金	*
租税公課	336,575	1,682,875	3,241,050	5,260,500	5,397,000	△ 136,500	固定資産税・消費税・市県民税・謄本	*
保険料	21,059	105,299	400,134	526,492	525,193	1,299	火災保険、職員保険、あんしん財団	*
福利厚生費	110,526	7,369	4,912	122,807	94,107	28,700		*
旅費	533,457	35,564	23,709	592,730	579,591	13,139	職員旅費	*
会議費	960,930	63,063	42,041	1,066,034	498,613	567,421	評議員会・理事会・委員会	*
報償費・旅費	629,190	41,946	27,964	699,100	944,069	△ 244,969	役員旅費	*
光熱水費	449,369	449,370	898,739	1,797,478	1,380,809	416,669	電気・水道	*
印刷費	95,409	6,361	4,240	106,010	94,639	11,371	封筒等	*
書籍費	147,420	9,828	6,552	163,800	140,220	23,580	新聞雑誌購読料・書籍購入費	*
消耗品費	556,514	37,102	24,733	618,349	766,126	△ 147,777	コピー用紙・文具他	*
通信費	724,134	50,797	33,863	808,794	528,688	280,106	電話料・郵便料・インターネット	*
賃借料	699,993	62,223	15,555	777,771	762,300	15,471	事務機器リース料	*
交際費	33,475	2,233	1,487	37,195	144,112	△ 106,917		*
中退共掛金	336,600	22,440	14,960	374,000	240,000	134,000	職員退職金積立	*
減価償却費		5,071,764	5,774,484	10,846,248	12,234,611	△ 1,388,363		*
慶弔費	327,668	21,845	14,563	364,076	260,000	104,076		*
修理費	3,559	1,187	7,119	11,865	71,484	△ 59,619		*
雑費	33,310	2,221	1,481	37,012	43,489	△ 6,477	振込料他	*
経常費用計	23,701,218	8,835,033	12,715,288	45,251,539	44,287,541	963,998		
法人会計振替金		△ 6,455,935	6,455,935	0	7,405,749	△ 7,405,749	23年度は7,405,749円	★
公益事業補填金	△ 22,097,218	22,097,218		0				
当期経常増減額	0	△ 6,514,421	△ 5,097,760	△ 11,612,181	△ 10,076,989	△ 1,535,192		
正味財産期首残高				383,531,671	393,608,660	△ 10,076,989		
正味財産期末残高				371,919,490	383,531,671	△ 11,612,181		

継続事業の内容について
 継1…県佛大会・奉詠大会・仏教文化講座
 継2…助成金・善意銀行
 継3…寄附(協賛金)等
 共通…すべての公益事業に共通する項目

*印は公益事業と法人会計と収益事業に按分している科目です。
 ★印は収益事業から法人会計へ寄附金として資金の移動があった額です。
 前年度と当年度の科目に表示の違いがあるため、当年度に置き換えて表示しています。

● 貸借対照表 ●

平成25年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債および正味財産の部	
1 流動資産	[8,688,053]	1 負債の部	
(1) 現金	(300,252)	1. 流動負債	[968,188]
ア 法人会計	63,228	(1) 預り金	182,596
イ 特別(収益) 収益事業	237,024	(2) 前受金	341,892
(2) 普通預金、貯金	(8,000,591)	(3) 未払金 未払法人税等	70,000
ア 武蔵野銀行(法人会計)	951,172	(4) 未払法人税等 未払消費税等	373,700
イ 武蔵野銀行(収益事業)	2,798,233		
ウ 埼玉りそな(収益事業)	878,386	2. 固定負債	[2,200,000]
エ ゆうちょ銀行(法人会計)	1,760	(1) 預り敷金	2,200,000
オ 郵便振替(法人会計)	3,371,040		
(3) 未収入金	(268,498)		
(4) 前渡金	(114,100)		
(5) 立替金	(4,612)		
2 固定資産	[366,399,625]		
(1) 基本財産	(329,862,824)	負債の部合計	3,168,188
ア 土地	125,623,575		
イ 建物	226,787,941	2 正味財産の部	
ウ 減価償却累計額	△ 26,080,609	正味財産	371,919,490
エ 定額貯金(ゆうちょ銀行)	3,531,917	(うち基本財産)	(329,862,824)
(2) 有形固定資産	(33,987,284)		
ア 建物	3,730,189	正味財産の部合計	371,919,490
イ 付属設備	67,923,450	負債および正味財産の部合計	375,087,678
ウ 構築物	13,027,213		
エ 什器備品	9,221,576		
オ 減価償却累計額	△ 59,915,144		
(3) 無形固定資産	(228,750)		
電話加入権	228,750		
(4) 定期預金	(2,320,767)		
埼玉県信用金庫	2,320,767		
資産の部合計	375,087,678		

● 監査報告書 ●

一般財団法人埼玉県佛教会 定款第8条の規定により、平成25年5月13日埼玉県佛教会事務局において平成24年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、関連諸帳簿、証憑書類等の提示を求め、財産並びに理事の業務執行状況について所定の監査を実施しました。その結果、その財源その用途及び当該年度末における財政状態が適正に表示されており、また理事の業務執行状況についても適正に行われ、それらは合法かつ正確であると認めました。

よって一般財団法人埼玉県佛教会、定款第24条の定めるところにより、ここに報告いたします。

平成25年5月22日

監事 井倉 賢一 ㊞

監事 河野 亮仙 ㊞

《 出 欠 一 覧 》
平成25年度 第1回代議員会議
平成25年 5月15日 (水) 10:30～・埼玉会館

(○出席者、△委任状、□代理、敬称略・順不同)

会副専	会務理	長理事	○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺]	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田・三学院]
			○ 木村 盛雄 [所沢・持明院]	
			○ 深谷 雅良 [入間東部・大應寺]	
代議員			△ 鎌田 亮宣 [浦和・長覚院]	△ 木本 清玄 [大宮・福正寺]
			△ 佐々木 妙修 [与野・妙行寺]	△ 石山 則広 [川口・源永寺]
			△ 馬場 知行 [鴻巣・宝持寺]	△ 稲田 碩哉 [上尾・楞嚴寺]
			△ 中村 信行 [蕨・戸田・平等寺]	○ 陶山 憲裕 [朝霞・三光院]
			△ 別所 隆雄 [伊奈・法光寺]	○ 野口 孝之 [吹上・宝蔵院]
			○ 山越 知雄 [川越・常楽寺]	○ 荒泉 盛憲 [所沢・東福寺]
			○ 小川 廣明 [飯能・長松寺]	△ 野本 亮廣 [狭山・廣福寺]
			△ 桑村 有弘 [入間・寿昌寺]	○ 石渡 隆幸 [入間東部・金蔵院]
			○ 水田 光栄 [坂戸・鶴ヶ島・慈眼寺]	△ 安西 昌道 [越生・毛呂山・法恩寺]
			○ 中嶋 栄正 [東松山・滑川・正法寺]	△ 森下 弘道 [護法・宗心寺]
			△ 小林 元秀 [小川連合・圓光寺]	△ 佐伯 頼栄 [都幾川・慈光寺]
			○ 小谷 禎正 [川島・大聖寺]	○ 村田 栄行 [吉見・息障院]
			△ 濱島 文明 [鳩山・玉川・東光寺]	△ 町田 廣文 [秩父・廣見寺]
			△ 大野 昭宏 [小鹿野・宝円寺]	△ 佐瀬 英雄 [北秩父・洞昌院]
			△ 大野 宏文 [本庄・開善寺]	○ 篠塚 秀文 [児玉・龍泉寺]
			△ 斎藤 勝治 [熊谷・東光寺]	○ 坂本 良光 [深谷・妙光寺]
			△ 角山 祥隆 [荒南・保安寺]	△ 小杉 年定 [妻沼・長昌寺]
			○ 山崎 典勇 [寄居・常光寺]	△ 福島 伸悦 [行田・長光寺]
			△ 馬場 弘壽 [加須・龍昌寺]	△ 梅澤 清眞 [羽生・遍照院]
			△ 関根 隆光 [岩槻・光秀寺]	○ 池田 常臣 [春日部・圓福寺]
			○ 丹羽 尊悟 [草加・西願寺]	○ 佐々木 純一 [越谷・東福寺]
			△ 井井 省英 [喜蔭・東雲院]	△ 八田 峰道 [八潮・長安寺]
			○ 島崎 英種 [喜蔭・正眼寺]	△ 榎本 賢隆 [三郷・光福院]
			△ 矢野 雪巖 [蓮田・保福寺]	○ 今井 康隆 [幸手・聖福寺]
			○ 今野 泰正 [宮代・醫王院]	△ 矢部 玄道 [白岡・寿楽院]
			△ 金子 順正 [栗橋・深廣寺]	△ 山岡 武秀 [鷲宮・広福院]
			○ 吉州 正見 [杉戸・正明寺]	△ 齊藤 淳道 [松伏・静栖寺]
			○ 西山 祐照 [吉川・観龍院]	△ 清水 永信 [庄和・明清寺]
事務局			○ 金子 嘉広 ○ 小池 康宏 ○ 本間 照康	

【代議員 出席22名・委任状34名 合計56名/現数56名】 / [] 内は地区名・寺院名

平成25年度 第2回理事会

平成25年 5月22日 (水) 10:30～・埼玉会館

(○出席者、△欠席者、敬称略・順不同)

会副専	会務理	長理事	○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺]	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田・三学院]
			○ 木村 盛雄 [所沢・持明院]	
			○ 深谷 雅良 [入間東部・大應寺]	
理事			○ 教雄 良哉 [菖蒲・妙福寺]	△ 加藤 玄静 [本庄・城立寺]
			△ 杉村 良哉 [八潮・観音寺]	△ 糸原 恒久 [川越・蓮馨寺]
			○ 白石 通昭 [東松山・清見寺]	△ 山口 正純 [川口・密蔵院]
			△ 蓮野 行全 [菖蒲・正法院]	△ 中井 隆吾 [秩父・光明寺]
			△ 河野 亮玄 [浦和・東泉寺]	○ 嵩海 雄 [東松山・滑川・了善寺]
			△ 佐瀬 英雄 [北秩父・洞昌院]	○ 穂積 容山 [鴻巣・龍昌寺]
			○ 坂東 隆秀 [深谷・正徳院]	○ 眞島 亮悟 [寄居・浄福寺]
監顧問	税理士	事務局	○ 井倉 賢一 [鷲宮・寿徳寺]	○ 河野 亮仙 [浦和・延命寺]
			○ 伊澤 愛子	
			○ 金子 嘉広 ○ 小池 康宏 ○ 本間 照康	

【理事 出席10名・欠席8名/現数18名】 / [] 内は地区名・寺院名

平成25年度 定時評議員会

平成25年 5月22日 (水) 13:30～・埼玉会館

(○出席者、△欠席者、敬称略・順不同)

評議員			○ 石川 法夫 [久喜・善徳寺]	○ 上村 正剛 [さいたま・弥勒密寺]
			△ 大嶋 法道 [さいたま・慈恩寺]	○ 角山 祥隆 [熊谷・保安寺]
			○ 川端 清光 [さいたま・浄国寺]	△ 坂本 良光 [深谷・妙光寺]
			△ 関根 隆光 [さいたま・光秀寺]	△ 中村 信行 [戸田・平等寺]
			○ 沼田 正順 [川越・妙昌寺]	○ 藤井 壽雄 [吉川・清浄寺]
			○ 沿路 宏隆 [入間・長徳寺]	○ 實龍 彦 [川越・栄林寺]
			○ 向井 隆健 [行田・宝蔵寺]	○ 森田 真隆 [ときがわ・全長寺]
			○ 吉田 宏哲 [本庄・宥勝寺]	○ 鷲津 憲道 [越谷・観照院]
監出席	席理事		△ 井倉 賢一 [久喜・寿徳寺]	○ 河野 亮仙 [さいたま・延命寺]
			○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺]	
			○ 木村 盛雄 [所沢・持明院]	○ 倉持 秀裕 [蕨・三学院]
			○ 深谷 雅良 [富士見・大應寺]	
			○ 穂山 教雄 [久喜・妙福寺]	△ 加藤 玄静 [本庄・城立寺]
			△ 杉村 良哉 [八潮・観音寺]	△ 糸原 恒久 [川越・蓮馨寺]
顧問	税理士	事務局	○ 伊澤 愛子	
			○ 金子 嘉広 ○ 小池 康宏 ○ 本間 照康	

【評議員 出席12名・欠席 4名/現数16名】 / [] 内は市町村名・寺院名

埼玉講話 第十一回

「凡夫、狂酔して、わが非を悟らず。ただし淫食を念ずること、かの羝羊のごとし。」

代議員 小山 典勇
(寄居・常光寺)

凡夫とは、お酒に酔っていて自分の過ちに気付かず、羊のよう
に性欲と食欲に走っている人
であり、本能的衝動的
精神状態
です。自分の過ちとは自己中心
の精神状態です。表題の言葉は、
真言宗の開祖、弘法大師空海の
『秘蔵宝鑑』の一節です。主著
『秘密曼荼羅十住心論』10卷
の要約書とされています。人間
の道徳的宗教的状态を10段階に
分け、その成長過程に儒教・道
教・仏教各宗の教えを位置づけ、
第十住心を空海が目指す究極的
境地を秘密莊嚴心とするもの

です。

さて、平成23年3月11日に発
生した東日本大震災は一万数千
人の人々の命を奪いました。突
然、家族、財産、仕事、生活を
失った嘆き、悲しみは家族の絆、
地域のつながり、救いを願う祈
り、葬式の必要性を覚えてくれ
ました。また様々な人々がボラ
ンティアとなり、今でも活動し
ています。在日米軍による「ト
モダチ作戦」という支援もあり
ました。ボランティアの精神と
凡夫の心との違いは他人事では
ない、つまり自己中心ではない
意識と行動です。

物や野菜料理は後回しです。食
材の個々の味、食べ物の命、生
産者や料理に関わる人の心を思
う間もなく、好きなモノは食べ
放題、嫌いなモノは見向きもし
ないで残してしまう、このよう
な食べ方は自己中心・凡夫の心
ではないでしょうか。
好き嫌いという感情で人間関
係を考えるとどうでしょうか。
自分より弱い相手あるいは一人
か少数なら、難癖をつけて暴力
を振るうことは目に見えるよう
です。いじめや暴力で自己満足
できるのですから。
現代の社会を支配している経
済原理・競争原理・現世主義・
物質主義など複合した原理に対
して他人事ではないという精神
はどれだけ力を持っているでし
ょうか。東日本大震災が教えた
ことは、全てのものは移り変わ
る諸行無常の教えです。
現代社会の原理に基づく生活
は一瞬にして崩壊してしまっ
たのです。凡夫の心は狂酔だっ

・非だったと悟り、他人事では
ないという精神に啓発され、他
と生きる道徳を身につけ成長を
始めるのです。皆友だち、明る
い笑顔の人生を目指して。

※この記事は、「さいたまグラフ」
の平成23年11月号に掲載されま
した。

埼玉県佛教会理事
密蔵院住職 **山口正純**
真言宗智山派

〒334-0057 川口市安行原2008
TEL 048-296-0774
FAX 048-294-8938
<http://www.mituzouin.jp>

トピックス

第25回総会

「埼玉同宗連」

平成25年6月6日(木)、第25回総会が開催され、各教宗派から代議員、相談役を含めて21名が出席。平成24年度事業報告、決算、平成25年度事業計画案、予算案及び役員改選について協議され承認された。新議長に、備前島賢光師(高野山真言宗)が就任した。



備前島議長

題は「狭山事件50年の軌跡とこれから」。

まず、副議長の牧野大俊師(曹洞宗第二宗務所)が開会のことばを述べた。

続いて主催者を代表して、新議長の備前島賢光師が挨拶。その後、小野寺一規氏から来賓挨拶をいただいた。

第37回研修会
「埼玉同宗連」

同日午後から第37回「埼玉同宗連」研修会が埼玉佛会館にて開催された。参加者は約70名。講師は、部落解放同盟埼玉県連合会書記長の小野寺一規氏で、演

講演は、まず、部落解放同盟が作成した狭山事件のDVDを20分ほど視聴。続いてレジュメと資料を基に講演が進められた。狭山事件は、昭和38年、当時16歳だった女子高校生誘拐殺害事件で、被差別部落の青年石川一雄さんが逮捕されたのが始まり。はじめ無罪を主張していた石川さんが、再逮捕後に自白をはじめ、それに沿って物的証拠が発見された。浦和地裁が半年

の審理で死刑判決を下した後、東京高裁の第二審で石川さんは再び無罪を主張。しかし昭和49年に無期懲役の判決が下された。その後昭和52年に上告が棄却、昭和55年に再審請求が棄却、平成17年に第二次再審請求が棄却され、現在第三次再審請求が行われている。

講演では、三者協議における裁判長からの勧告で検察が開示した証拠をもとに石川さんの無実が説明された。小野寺氏によれば、この事件の客観的事実は、

①脅迫状が届けられたこと。②被害者が殺害されたこと。③点のみで、①の脅迫状については、石川さんが逮捕時に書いた上申書と明らかに筆跡が違うことが資料をもとに説明され、②の殺害については、血痕検査報告書、現場を撮影した8ミリフィルム、死体の写真など、自白の殺害現場を裏付ける証拠が、いずれも証拠開示勧告を受けても不見当(見当たらない)とな

っていること、また殺害現場から15メートルのところまで農作業をしていたOさんが「雑木林に人影はなく悲鳴も聞いていない」と証言していることが説明された。また、強要されたとする自白についても、裁判で根拠となっていた物的証拠(万年筆・カバン・腕時計)が、徹底した捜査の後に発見されていることや、そもそも被害者のものではないという鑑定が出されていることが説明された。

また、石川さんが免許を取得しようとした時の話など、ど



第37回「埼玉同宗連」研修会 平成25年6月6日(木) 狭山事件50年の軌跡とこれから 講師 解放同盟埼玉県連合会書記長 小野寺一規氏

ういう人物であるかが分かるエピソードも紹介された。最後に、7月下旬に行われる第14回三者協議が大きな山場になるため、皆様の力を貸して頂きたいとのお願いがなされて講演は終了。副議長の倉持光恭師（真言宗智山派）が閉会のことばを述べて閉会。



部落解放同盟埼玉県連合会 第11回夏期講座

平成25年6月13日（木）～14日（金）、部落解放同盟埼玉県連合会主催の「第11回夏期講座」が群馬県みなかみ町「ホテル聚楽」を会場に開催された。参加者は200名を超え、主に

各市役所町役場の人権担当者が集まった。開会行事では小野寺一規書記長が主催者代表挨拶をした。第1日目は部落解放同盟埼玉県連合会の片岡明幸委員長による「戸籍等不正取得事件と本人通知制度の課題」が、続いて武州鼻緒騒動研究会副会長の大熊哲雄氏による「武州鼻緒騒動とその後の長吏」、第2日目の講座は先ず、部落解放同盟埼玉県連合会の小野寺書記長による「狭山事件発生50年！えん罪と人権」、続いて同・山本道夫



書記次長により「第1次市町村交渉要求項目の解説」が実施され、2日間で4つの講座が開かれ、それぞれの問題が説明されるとともに、今後の課題や、市や町としてどのように取り組んでいくべきかといったことが論じられた。（事務局 本間）

『第16回講演会』

埼玉県宗教連盟

平成25年6月20日（木）、埼玉県宗教連盟主催の「第16回埼玉県連講演会」が天理教埼玉教務支庁（さいたま市北区）を会場に開催され、各教宗派から合わせて約70名の参加があった。開会行事で、伊藤雅由氏（立正佼成会）が主催者挨拶をした。

講師は、西村仁風子先生。『介護されない自分づくり―自分と家族のケア方法を身につけよう―』を演題に、ただ聞くだけで



はなく、席に着いたままできる実践を交えながらの90分。

『最初に、「自分は、こういうりたい」というゴールのイメージを「脳」に描くことがとても大切です。次に、心の在り方や、思い方が意思力につながっていく、継続するという意欲につながる。しかし、思い描いた決心が弱くなってしまうと、人は身体バランスが崩れ、結果として人の世話になることが多いのです。つまり、姿勢を整えることがバランスのとれた身体、病

気や老化防止、健脚につながり、またそこに向かって取り組む意欲と姿勢が自信になって人生が変わるのです。」

西村先生は、都内で経絡エクササイズ教室開く傍ら、正しい姿勢を通して「人々が命を輝かせてしあわせに生きる方法」を一人でも多くの方々に伝授したいという想いで講演活動を続けている。



『平和の祈り』

埼玉県宗教連盟

平成25年7月12日(金)、埼玉県宗教連盟(飯野敏明理事長)が例年、この時期に主催している『平和の祈り』が今年もカトリック川越教会を会場に開催された。『平和の祈り』は宗教に携わる者が宗教・宗派を越えて、一堂に会し、世界の平和の祈りを捧げ、平和の実現を共に願うというもの。



今年も、埼玉県佛教会から萩野映明会長、深谷雅良専務理事、本間照康主事補、川越市佛教会の米山知行会長、玉寶寺住職の黒田雪雄師(飯能)。そして、石渡学師、柏敬一師、太田代浩毅師ら大應寺(富士見)から3名。

さらに、埼玉県佛教青年会から、三浦清志会長、佐藤順興事務局長、以上の10名が平和祈願を厳修した。

また、天理教、「新宗連埼玉」から松緑神道大和山、カトリック教会、埼玉県神社庁、埼玉県神道青年会、立正佼成会朝霞教会、日本基督教団より約70名の参加があった。



暑中お見舞

吞龍上人奉記

蓮馨寺

住職 糸原恒久

〒三五〇〇〇六六

川越市連雀町七一

・電話

〇四九二一一三二〇〇四三

・FAX

〇四九二一一二六〇〇六七六

高野山真言宗 真弘寺

住職 本間照常

副住職 本間照康

〒336-0021 さいたま市南区別所2-7-12
TEL/FAX 048-861-1219

E-mail : shinkoji@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/shinkoji/

地区仏教会だより

第44回花祭り子供大会

妻沼仏教会

平成25年5月25日(土)、熊谷市妻沼中央公民館において、妻沼仏教会(小杉年定会長)が中心となり、花祭り子供大会実行委員会主催による第44回「花祭り子供大会」を開催した。当日は寺院の住職、青年教師、寺族婦人及び全寺院の檀徒総代並びに寺世話人等合計100名余の協力を得て、会場設営。土産物の袋詰め等に当たった。この土産物は地区内の企業87社を各地区役員が勧募に回り、集めた協賛金で調達したもので、菓子、画帳、牛乳、甘茶等550組を用意した。

大会は、第1部法要で児童代表8名による献灯・献花。献香・献茶に続き読経・お唱えの



後、小杉会長の法話、お釈迦様誕生の紙芝居などが厳粛に執行された。

第2部では、鶴ヶ島市に拠点を構える「クラウン・パラダイス」によるパフォーマンスショーが行われ、来場した400名余の子供達とその保護者共々大いに楽しみ会場は大変盛り上がりました。閉会后、お土産の袋を手にした子供達は、誕生佛に甘茶をかけながら、来年も来たいねと笑顔で語り合っており、



役員一同準備した甲斐があったと安堵しました。

(報告 妻沼仏教会

常務理事・備前島 賢光)

川島仏教徒大会

川島仏教会

平成25年6月7日(金)、川島仏教会(小谷野禎正会長)主催の仏教徒大会が川島町の慈眼院を会場に開催された。

講師は、戸田市にある真宗本願寺派寺院、正善寺住職の熊原

博文師を招き「他力といふは如来の本願力なり」を演題に講演いただいた。当日は川島仏教会寺院住職をはじめ、総代役員など62名が参加した。

(報告 川島仏教会

会長 小谷野 禎正)

平成25年度「総会」

蕨戸田仏教会

平成25年6月24日(月)、蕨・戸田仏教会(中村信行会長)の平成25年度「総会」が埼玉佛会館を会場に開催された。総会の議事に先立ち、現埼玉佛会館落成時に制作されたDVD「永遠の一日」を上映。続いて金子嘉広事務局長が、本会の事業内容と新法人における組織の運営について説明した。



開会挨拶をする中村信行会長

春日部市仏教講演会

平成25年6月4日(火)、春日部市仏教会(池田常臣会長)主催の仏教講演会が、春日部市中央公民館1階講堂(350名収容)を会場に開催された。

第1回目の仏教講演会が昭和60年に開催されて以来、特に主だった行事開催は無く、仏教会組織の形骸化が進んでいたが、池田常臣師(圓福寺・浄土)が平成24年6月に新会長に就任したのを機に、再びまとまりのあ

る春日部市仏教会を目指し、また檀信徒のほか、近隣住民の方々にも宗派を越えた寺院の集まりがあることを示す為にも、今回の講演会が企画されたとのこと。

司会は、玉蔵院住職の児島信弘師(智山)が務め、開会の辞を副会長の梅谷正之師(勝林寺・浄土)が述べた。続いて、主催者挨拶として会長の池田常臣師から「実に28年ぶりとなる開催ではありますが、今日のお話の中から、何かを心の中に受け取っていただき、日々の生活の爽りにしていただけたらと思います」と述べられた。続いて、司会の児島師から講師の紹介がなされた。

大谷徹英師は、昭和38年に江東区の浄土宗寺院、重願寺に生まれ、昭和55年、法相宗大本山薬師寺の故高田好胤住職に師事し薬師寺の僧侶になった。平成15年以来、薬師寺の執事を務める傍ら、「心を耕そう」をスロー

ガンに全国各地を法話行脚され、年間400講座を持つという。

「私は、これから90分の講演で、お金で買うことのできない命を90分間削ります。聞く側も同様に、無意識のうちに、同じ時間、命を削るんです。人と人の出逢いは、命と命の出逢い、その命に優劣はないのです。人間の魂と魂の向き合い、限られた時間、同じ空間に集うことのできたお釈迦様のご縁に感謝して、挨拶をしましょう。」と、壇上から降りた大谷先生と「おはようございます!」と挨拶をした。話の最初と最後には必ず、同じ目の高さで挨拶をすることを通じているそうだ。

まず、『私は、お釈迦様の弟子となり修行を続けています。今日お話ししたことを聞いて、終わりに「ああ、今日のお話は良かった。」と思っていただけだから、それがお釈迦様の魅力です。』と演題についての説明。こ

の言葉から、今日の講演内容が、お釈迦様が大谷先生を通じて語られる。そんな印象を持った。

人は、どこかに旅行する時、なぜガイドブックを買うのでしょうか。その理由は、旅する前に、また旅先で迷わないように予習をするためなのです。そして、よく人生は旅に例えられます。長生きしてきた人は、人生を振りむきますと、思い描いていた平坦な道とは異なり、穴あり壁ありの人生であった事に気がつくはず。その人生の先輩方が、私達に穴に落ちないように、壁に当たらないように書かれたもの。それが、お経なのです。

また、死ぬ間際に「あなたの人生はどうでしたか?」と聞かれたら「私の人生は何だったのだろう。」という人も居れば、「人生を楽しませてくれてありがとう。」と謝意を述べ、居ます。同じ人生を使いながら、目的を持って歩いているか、否

かの違いがこのように出てくるのです。

人は、誰もが「幸せになりたい！幸せになりたい！」と言っていますわりに、幸せを掴んでいる人は少ないのです。そもそも、幸せが何かと言うことが分かっています。「気がついていたら、いつの間にか今の歳になっていませんか？」お釈迦様は、我々が意識して生きるようになってから、死ぬ瞬間まで、迷いと悩みの同居であることを良くご存知なのです。そんな私達



が、悟ることができるようになることができるように、幸せになれるようにとお釈迦様が著された本がお経なのです。

つまり、お経は『人生の歩き方、幸せのガイドブック』なのです。

ある時、薬師寺で友人とその息子を接待していた時のこと。

友人との会話に夢中になっていた時、ある違和感を感じました。それは、自分の隣に座っている彼の息子が羊羹をお抹茶の入った茶碗から取り出して食べようとしているシーンでした。瞬間『えっ！何が起こったの？』と思いました。『あつ、たぶん羊羹を落としてしまったのかなと

考えましたが、茶碗は羊羹の向こう側にあるのに変だな。落とすなら手前なのにな』と思いましたが、友人と談話をする傍ら、彼の仕草を観察していますと、残った羊羹をくろもじで刺して、抹茶の入った茶碗に投入して食べるというシーンを目撃。思わず、『何をしているの？』と聞きました。彼は、生まれて

初めて抹茶を飲むといえます。

何かの作法があるという知識だけはありましたが、肝心の作法は知りませんでした。間の悪い事に、大谷先生と父の会話が盛り上がったいて、聞くに聞けなかったのだと。そこで、彼は自分の価値観のモノサシで一生懸命考えた：食べ物、長い櫛、泡のついたもの：出てきた答えが『チーズフォンデュ』でした。

この話をしますと、お茶を飲むという飲み方の価値観を知っている人は笑います。しかし、彼は、なぜ笑われるのか分からないでしょう。自分が知っていることは、相手も知っていて、自分が理解していることは、相手も理解していると思ひ込むこ



左から、会長・池田常臣師、大谷徹英師、副会長・梅谷正之師

とが、トラブルの原因になります。

人にはそれぞれ、価値観というモノサシが与えられます。そのモノサシに刻まれた目盛りは、人それぞれ異なります。目盛りが合致する人、所謂、趣味が同じ人、価値観の近い人とは仲良くできますが、そうではない人との人間関係は、うまくいきません。

(事務局・小池)

インド仏教聖地巡拝紀行③

主事補 本間 照康（さいたま市・真弘寺副住職）



いよいよお釈迦様が悟りを開かれた地、ブツダガヤの大菩提寺へ出発。大菩提寺へは10分程バスを降りて大菩提寺境内までバザールがあり、人が沢山寄ってくる。荷物を盗られないよう注意しながら、物品販売の人々に「NO!」と言いつつ歩いていく。境内は入場無料だがカメラ持込料が一人20ルピー。境内は裸足か靴下でないと歩けないので、入口で靴を預けた。現地ガイドさんがチップを支



払っていたため、安心して預ける事ができた。門をくぐると目の前に高さ52層の大塔がそびえ立つ。塔には細かい彫刻が施され、美しく神秘的。また、境内にはストウーパが点在。それらも千年以上前のものであるという。大塔の中に入ると、そこには金色の釋尊像。新しいように見えるが実は千年以上前のものに色を塗っただけらしい。永い年月を経たものが目前に存在しているという不思議な感覚。仏

像の前では礼拝している人や瞑想している人が何人か居た。外に出て大塔の後ろに回ると、そこにはお釈迦様が悟りを開かれた菩提樹と金剛座があった。その周りにたくさんの方が瞑想やお祈りをしている。菩提

樹にはリスや鳥が留まっており、自然と穏やかな気分になる。インドの4月は40℃近くなるほど暑い。湿度が少なくカラッとした暑さだ。木陰に入り風が吹くと全く暑さが気にならない。この樹の下で瞑想するのは絶対に気持ちがいいに違いない。時間があれば是非やってみたいと思つた。釈尊がこの場所を選んで瞑想された理由を少し感じることができた。さて、釈尊はこの樹の下で悟りを開かれた後、一週間ごとに場所を変え、七週間この地に留まったという。第三週に歩きながら瞑想されたという場所を通り、第六週に居られたというムチャリンド池へ。池は方形で広く、真ん中に蛇に乗って瞑想をされている釈尊像がある。釈尊がこの池の傍で瞑想を始める。大嵐がやって来たが、その時、地中からムチャリンドという蛇の王が出てきてその身を以て傘としたという伝説を表している。また、その近くには



アショーカ王の石柱があり、硬貨を投げて石柱の上に載れば金運が上がるということで、インド人観光客と思しき人々が頑張つて投げていた。私は失敗したが、同期の一人は一発で成功した。これで一通り境内を見て回ったので大菩提寺を去ることに。外に出るとまたすごい数の土産物屋さんが寄ってくる。「菩提樹の葉っぱ、千円!」と言って葉っぱを手渡そうとしたり、「あそこが私の店ですから、来てくだささい」と言つて連れて行こうとしてくる。10分程バザールを見学してからバスに乗り、次の目的地スジャータ村へと向かう。スジャータは、厳しい苦行の果てに苦行のみでは悟りを開く

ことはできないと理解したお釈迦様に乳粥を供養して命を救った女性。お釈迦様はこの乳粥で心身を回復され菩提樹の下で瞑想を始め、悟りを得られた。釈尊が乳粥の供養を受けた尼連禪河を渡り、スジャータ村に到着。尼連禪河は乾期で水が全くなかった。村にはスジャータの大きなストウパーがあり、周りには砂地が広がり木が点在する。周辺の風景は2500年前とほぼ変わらないらしい。この地は農業が盛んで豊からしい。現地ガイドさんによれば5、6年前に乞食は消えたが、最近タイ人がよく来るようになり、元々、彼らには施しの習慣があり、よく施しをするため、決して生活に困っているわけではないが乞食の人が急増しているとのこと。

次は、国際仏教興隆協会が管理している印度山日本寺へ。門の前にバスが止まると一目で日本のお寺だと分かる建物が見えた。境内には本堂の他に診療所、

幼児保育施設である菩提樹学園、図書館等の施設があり、すべて無料という。本堂の中は日本のお寺のような荘厳がなされているが、本尊の釈迦牟尼仏に向かつて人々が合掌している大きな壁画が日本では見られない光景だろう。限りなく日本に近いインドといった印象を受けた。日本人の寺務員さんに面会后出発。お勤めの方は、素肌に直接衣をまとい、左肩を露出する現地スタイル。その後は日本人が



寄進して建立された巨大な大仏や色鮮やかなチベット寺院などを巡り、ホテルで昼食をとった後ブッダガヤを離れ、お釈迦様が初めて説法をされた(初転法輪の)地であり、ヒンズー教の聖地でもあるベナレスへと向かった。ベナレスはガンジス川のほとりの町で人が多く活気に満ち溢れている。タクシーや自転車で大混雑する道を常にクラクションを鳴らしながらバスはぐんぐん進んでいく。辺りが暗くなった頃、バスは織物工場に到着。ベナレスはシルクがとても有名。まず手織り工場を見学。新旧2種類の織機があり、古いタイプは何色でも織り込めるが一日4色しか織れないそう。新しい方は4色までだが一日に20色織ることができらしい。一通り説明を聞いた後、直売店でお買い物。敷物やスカーフ、マフラーなど、布製品が数多く取り揃えられている。生地を選んでシャツや作業衣を作ってもら

うこともできる。ガイドさんが「学生だから安くしてあげて」と言うのと「最後に2割引する」と店の人が日本語で言った。私は日本へのお土産に敷物とマフラーを購入。あとで、もう少し値切ることが出来たかな?などと思いつつも店を後にして今晚の宿に到着。夕食はホテル内のレストラン「カバブファクトリー」へ。カバブとは鶏や羊を挽肉にしたものを焼いたインド風の肉料理。カバブの他に魚フライ、ビリヤニ、チーズカレー、豆カレー、ナン、タンドリーチキンなどが出された。ビリヤニはピリ辛炒飯といった感じ。どの料理も食べやすく美味。チーズカレーが特にお気に入り。デザートはスポンジに牛乳が染み込んだようなものとクルフィー(牛乳アイス)。こつてりとした甘さが特徴。食事が終わるとそれぞれ部屋に戻ってシャワーを浴びて就寝。

(つづく)

計報

お悔やみ申し上げます。

平成25年 4月

17日 坂戸市全徳寺(曹洞)

疇津 淳教 師(81歳)

20日 小川町普光寺(天台)

中山 清田 師(66歳)

平成25年 5月

3日 深谷市国済寺(南禅)

細見 修学 師(78歳)

19日 行田市安樂寺(建長)

小菅 俊道 師(90歳)

28日 加須市宝幢寺(豊山)

本多 隆紀 師(68歳)

事務局日誌

平成25年 4月

17日▼「解放同盟」埼玉県実行

委員会第3回幹事会(熊

谷市同和センター・金子

事務局長、本間主事補)

19日▼「埼玉宗連」社会を明るく

する運動

30日▼「全国同宗連」狭山パレ

ード会議(事務局・本間)

5月

13日▼監査会

15日▼第1回代議員会議(埼玉

会館)

22日▼第2回理事会/定時評議

員会(埼玉会館)

23日▼「解放同盟」狭山市民集

会(日比谷/事務局・本

間)

24日▼「埼玉保」監査会

27日▼埼玉青「執行部会」

29日▼「埼玉保」定期総会/春

季研修会(埼玉会館)

30日▼「解放同盟」実行委員会

総会

6月

4日▼春日部市仏教会・仏教講

演会(春日部市中央公民

館)

6日▼「埼玉同宗連」第25回総

会/第37回研修会(埼玉佛

会館)

12日▼埼玉青「写仏」

13日▼「解放同盟」夏期講座(み

なかみ/14日)

18日▼埼玉青「総会」

20日▼「埼玉宗連」講演会(天理

教埼玉教務支庁)

24日▼蕨戸田仏教会「総会」(埼

佛会館)

28日▼北部地区代議員会議(埼

佛会館)

7月

2日▼埼玉青「写仏」

12日▼「埼玉宗連」平和の祈り(カ

トリック川越教会)

編集後記

3年前からメタボ解消のためウォーキングを始め、この頃はジョギングが中心。先日は皇居ランを楽しんできました。今月は世界遺産に登録となった富士山へ初登山。身体が軽くなるとステップも軽くなり、種目も着実にステップアップしております。次は何に挑戦しよう?(鯉)

第65回埼玉県各流讚佛歌奉詠大会

【埼玉県佛教会主催】

日時 平成25年9月10日(火)

9:10開場 9:40開会

会場 埼玉会館・大ホール

(さいたま市浦和区高砂3-1-4)

※全座席指定。

ご観覧ご希望の方は事前にお申し込みください。

県佛・奉詠大会係(電話048-861-2138)